

# 低炭素の地域づくり「戦略会議」奈良 2013年度 第3回会議

(平成 25 年度 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 助成事業)

2014年3月25日

## 1、開催趣旨及び経過

持続可能な低炭素の地域づくりにとって重要な自然エネルギーを普及させるための情報共有や課題についての検討を昨年度行いました。今年度も情報共有を行いながら、奈良県内で市民共同発電所設置などの自然エネルギー普及活動が活性化しています。今回は、国内の政策動向や奈良県内の最新動向等を共有し、次年度の展開や制度づくりに向けての検討を進めます。今までの参加者と奈良県内全市町村に参加呼びかけの案内送付を行いました。

## 2、主催

気候ネットワーク、奈良県地球温暖化防止活動推進センター、サークルおてんとさん

## 3、日時 2014年3月25日(火) 13:30~16:45

## 4、場所 奈良県文化会館 会議室A・B(2階)

## 5、参加者

行政 7 (奈良県エネルギー政策課 1、県南部東部振興課 1、県奈良の木ブランド課 1、奈良市エネルギー政策課 1、橿原市環境保全課 1、生駒市環境政策課 1、斑鳩町環境対策課 1)、議員 1、奈良ストップ温暖化の会 4、ならコープ 3、奈良県生協連 2、奈良 NPO センター 3、奈良環境カウンセラー協会 1、市民ファンド 3、環境団体 4、研究者 1、コンサル 1、企業 3)、気候ネットワーク 2、奈良県地球温暖化防止活動推進センター 2、サークルおてんとさん 4 合計 41名 (7名欠席)

## 6.内容 進行：田浦 健朗氏(気候ネットワーク)

(1) 開会主催者挨拶：サークルおてんとさん 宮田 佳代子

### 趣旨説明・前回までの経過説明

気候ネットワーク 田浦 健朗



### (2) 報告 再エネに関する最新動向

(特活) 気候ネットワーク 豊田 陽介

### (3) 報告 奈良県エネルギービジョンの推進

奈良県エネルギー政策課課長補佐 倉田 貴史さん



**阪原町及び十津川村での小水力発電へのチャレンジ**  
 関西広域小水力利用推進協議会理事 吉田 誠宏さん



**市民協働型太陽光発電事業についての提案**  
 (特活) 気候ネットワーク 豊田 陽介



**生駒市民共同発電所 1号機「地域よりエネルギー改革を」**  
 一般社団法人市民エネルギー生駒理事 山名 博美さん



**どうでの取り組み**  
 特定非営利活動法人どうで 杉本 匡敏さん



**一般社団法人地域未来エネルギー奈良の概要**  
 一般社団法人地域未来エネルギー奈良専務理事 北浦 由香さん



**意見交換**



閉会：主催者あいさつ奈良県地球温暖化防止活動推進センター長 遊津 隆義



**7.概要**

- ・「再エネに関する最新動向」(豊田さん)

再エネ特措法による設備認定状況、奈良県の再エネ設備認定料・導入量、2014年度調達価格案、エネルギー

ー基本計画等について説明を受けました。

・「奈良県エネルギービジョンの推進」(倉田さん)

奈良県エネルギービジョンの推進に向けての取り組み内容、予算等の説明を受けました。取り組み内容としては①再生可能エネルギーの普及拡大②奈良の省エネ・節電スタイルの推進③緊急時のエネルギー対策の推進があり、またエネルギー施策によって地域振興を図っている事例も紹介されました。

・「阪原町及び十津川村での小水力発電へのチャレンジ」(吉田さん)

奈良県小水力発電導入支援調査補助事業による奈良市阪原町と十津川村での調査についての報告を受けました。

・「どうでの取り組み」(杉本さん)

どうで施設への太陽光発電導入の経緯、奈良県小水力発電導入支援調査補助事業による調査状況、里山の活動について報告を受けました。

・「市民協働型太陽光発電事業についての提案」(豊田さん)

全国に広がりつつある屋根貸制度、京都市の市民協働発電制度(屋根貸制度)の概要、協働制度のポイントについて説明がありました。

・「一般社団法人地域未来エネルギー奈良の概要」(北浦さん)

2013年12月に設立して一般社団法人地域未来エネルギー奈良と1号機である「恋の窪未来発電所@ならコープ」の概要・出資募集結果・今後の予定について説明がありました。

・「生駒市民共同発電所1号機 地域よりエネルギー改革を」(山名さん)

市民エネルギー生駒の設立経緯、地域でエネルギーを作ることへの思いについて報告を受けました。

- ・最後に主催者である奈良県地球温暖化防止活動推進センターの遊津さんから「今回も県内外の動向や小水力調査、市民ファンドの報告を聞くことが出来て有意義だった。この会議を継続してほしいとの声が聞かれたので来年度以降も何らかの形で続けていきたい。」とのまとめがありました。

## 9、質疑応答、意見交換、次年度の開催について

### 「奈良県エネルギービジョンの推進」についての質疑応答

太陽熱温水器の普及に力を入れてはどうか? → 平成27年度の検討課題とする資料の予算表の25番「分散型エネルギーインフラ推進事業」のタイムスパンは?

→ 25年度は調査、国の予算に採択されれば26年度にマスタープランづくりを行う。

小水力発電等の上屋等も補助対象か? → 補助対象である

fit制度に乗ったものも補助対象か? → 地域振興に役立つものは補助対象である

小規模市町村の小水力発電は調査しても難しい場合があるのでは?

→ 地域の方が調査や整備をして地域ですすめていくことが大切だ

- ・奈良県エネルギービジョンについてはがんばっておられるし期待しているとの意見が多く聞かれた。
- ・参加してたくさんの情報が得られ力づけられた。次年度もこのような場があれば嬉しい。
- ・生駒市ではエネルギービジョンと環境モデル都市のバランスを図りながらすすめていく。
- ・大阪ガスの屋根貸の取り組みは? → 別会社で屋根貸を行っている。
- ・大阪ガスでは兵庫県小野市でため池に太陽光のフロートを浮かせて発電する事業を請け負った。その後たくさんの自治体から問い合わせをいただき、奈良市からも問い合わせをいただいた。
- ・奈良県のため池は水を抜く場合があるがそんなため池ではできないのではないか。

- ・川上村へ外資からの問い合わせがあり小水力発電への許可を求めているがどう対応すべきか？
  - 地域に還元できるかという視点で考えてはどうか。県などに相談してはどうか。
- ・ならコープから環境の取り組みの報告を受けた。
- ・サークルおてんとさんからあすなら苑第2おてんとさん発電所完成の報告を受けた。